

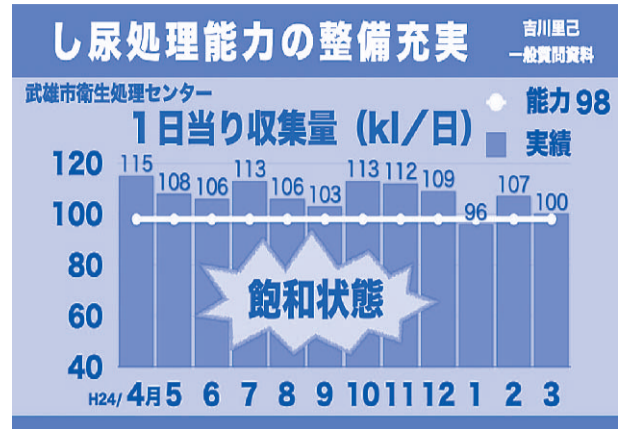
## 質問② し尿処理能力の充実を!

【樋渡市長】『年間1億4千万円の効果がある』

武雄衛生処理センター(し尿)の稼働率が約110%と処理能力をオーバーして運転されており、その施設に何らかのトラブルが発生すれば市民生活に大きな悪影響を与えると一年前から建設常任委員会でも問題視されてきました。その対応策として武雄衛生処理センターで一次処理したし尿を武雄浄化センター(公共下水)で処理することが考えられますが、今後どう対応するのか問いました?

樋渡市長は、市民病院の民営化や武雄市図書館改革に並ぶ効果があり、早急に実現させるとの答弁でした。

この革新的取組みは、下水道課や環境課の職員さんの細かい制度設計と関係省庁である国や県との粘り強い交渉によって実現することになりました。



## 質問③ 配食サービスの充実を!

【樋渡市長】『利用者の要望には対処していく』



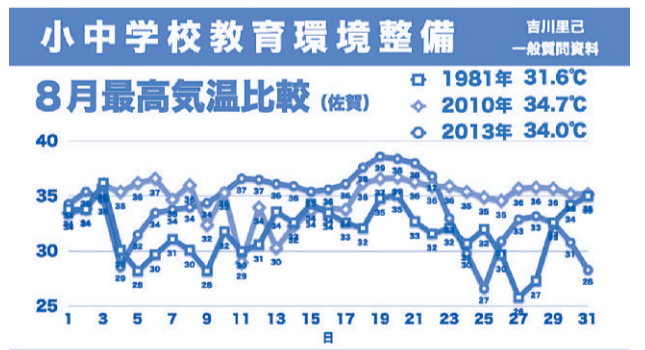
武雄市は食の自立支援事業として配食サービスを実施しています。これは高齢者や介護が必要な人へ食事を定期的に宅配し見守りを兼ねた健康増進を図るのが目的で、市内で約160名の方に利用いただいています。今年度より事業者が増え利用エリアの規制が設けられました。本来、事業者が増えれば選択の幅が広がり利用者にとってサービスが向上しなければなりません。市の規制によって利用者が事業者を自由に選べないという問題が生じています。品、量、味などそれぞれ事業者によって特徴があり、利用者もまたそれぞれ好みがあります。利用者の中には年間365日毎日利用いただいている方もいらっしゃいます。利用者本位の配食サービス、福祉サービスになるよう運用を改善すべきではないかと問いました?

## 質問④ 残る小中学校教室にエアコン設置を!

【樋渡市長】『新年度、中学1・2年教室に設置へ 小学校は翌年度以降に』

昨年の6月議会で、温暖化により8月の最高気温の平均が約3℃上昇しており、授業に対する集中力アップ、成績アップや熱中症対策としても設置すべきではないかと提案いたしました。

早速、樋渡市長、浦郷教育長の英断で中学3年生普通教室へ設置していただき快適な学校生活を過ごすことができます。残された中学2年生以下の教室へも早急に設置すべきと問いました?



吉川里己の公式ホームページを開設いたしました。http://yoshikawasatomi.com | 議員活動、一般質問、市議会報告などがご覧いただけます。

吉川は、あなたの声を武雄市政に活かします。お気軽にご相談ください!